



2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年2月13日

上場会社名 ムーンバット株式会社

上場取引所 東

コード番号 8115 URL <https://www.moonbat.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役・社長執行役員 (氏名) 鎌田 尚

問合せ先責任者 (役職名) 取締役・常務執行役員 管理本部長 (氏名) 山本 聡

TEL 075-361-0381

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	9,161	1.2	698	11.9	755	0.4	588	5.0
2025年3月期第3四半期	9,272	11.6	792	49.3	758	40.5	618	13.3

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 622百万円 (4.0%) 2025年3月期第3四半期 648百万円 (20.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	130.47	
2025年3月期第3四半期	137.17	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	9,416	5,834	61.8	1,291.77
2025年3月期	9,934	5,469	55.0	1,211.28

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 5,822百万円 2025年3月期 5,460百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		15.00		37.00	52.00
2026年3月期		20.00			
2026年3月期(予想)				32.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2026年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 22円00銭 140周年記念配当 10円00銭

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,700	2.1	550	21.7	600	9.8	470	20.0	104.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - 以外の会計方針の変更 : 無
 - 会計上の見積りの変更 : 無
 - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	4,774,719 株	2025年3月期	4,774,719 株
期末自己株式数	2026年3月期3Q	267,341 株	2025年3月期	266,985 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	4,507,587 株	2025年3月期3Q	4,511,138 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、人手不足を背景に雇用・所得環境の改善が見られたものの、地政学的リスクの長期化、アメリカの関税政策の動向、継続的な物価上昇による消費者マインドの下振れ懸念などから、先行き不透明な状況が続いております。

服飾雑貨業界におきましても、インバウンド消費の減速、円安傾向の為替相場の影響、仕入コスト上昇の恒常化、物価上昇による消費者の節約志向の高まりなど、事業環境へのマイナスの影響が懸念されております。

このような経営環境の下、当社グループは2025年3月期から2027年3月期までの「中期経営計画」を策定し、成長戦略として、「専門店マーケットへの商品開発及びマーケティングの強化」、「直営店・小売事業の拡大に向けた新たな店舗戦略の展開」、「Eコマース事業の更なる拡大」、「国内外の新規販路開拓」の4つの施策を実行しております。また、その前提として、自社ブランドの育成・確立、人材投資の積極化による採算性、生産性の向上を目指し、各販路に対する最適な商品・人的配置、リスクとコストを意識したサプライチェーンの再構築と適時適切な仕入販売コントロールによる在庫の最適化、DX（デジタルトランスフォーメーション）の高度化・活用を含めた販売管理費のコントロールを推進しております。

業績につきましては、中期経営計画の着実な実行の下、当社グループにおいては、春夏物は、猛暑に対応した販売施策の推進、特に、専門店・Eコマースマーケットへの商品開発、マーケティング等のアプローチ強化・高度化も奏功し、前期実績を上回り好調に推移しましたが、秋冬物の販売が、インバウンド需要の減少と中高級品市場の低迷の影響を受けたため、売上高は前年同四半期を下回りました。商品・人員配置の最適化、プロパー販売の促進等により売上総利益は増加しておりますが、営業施策推進のための販売関連経費及び人的資本投資の積極化等に関わる人件費の増加を吸収しきれず、損益面についても前年同四半期を下回りました。

その結果、連結売上高は91億61百万円（前年同四半期比1.2%減）、連結営業利益は6億98百万円（前年同四半期比11.9%減）、連結経常利益は7億55百万円（前年同四半期比0.4%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億88百万円（前年同四半期比5.0%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①身の回り品事業

身の回り品事業につきましては、猛暑を背景に、春夏物は、専門店を中心に各販路における販売が好調に推移しましたが、秋冬物の販売が、インバウンド需要の減少と中高級品市場の低迷の影響を受け、売上高は前年同四半期を下回りました。各販路に対応したきめ細かい商品開発・提案、プロパー販売の促進等の販売施策の推進に注力し、売上総利益は前年同四半期並みを確保しましたが、販売関連経費、人件費の増加を吸収しきれず、セグメント利益についても前年同四半期を下回りました。

洋傘部門につきましては、昨年に引き続き猛暑が到来し、パラソルマーケットが活況を呈したことに加え、専門店・Eコマースマーケットへの商品開発、マーケティング等のアプローチの強化も奏功し、売上高は前年同四半期を上回りました。

洋品部門及び帽子部門につきましては、一部インポートブランドの導入・自社ブランドの販売展開に注力いたしましたが、2024年12月にインバウンドを中心に人気を博したライセンスブランドの取扱終了に伴うマイナス影響をカバーしきれず、売上高は前年同四半期を下回りました。

毛皮・宝飾部門につきましては、エコファー・リフォーム等のサステイナブルな提案、新規商材の開拓、百貨店外商ルートの活用及び催事展開にも注力し、売上高は前年同四半期を上回りました。

以上の結果、身の回り品の売上高は87億94百万円（前年同四半期比1.8%減）、セグメント利益は、6億88百万円（前年同四半期比12.1%減）となりました。

②情報サービス事業

情報サービス業につきましては、業務のIT化、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進ニーズの高まりを捉え、システム開発受託・販売、保守・メンテナンス等に引き続き注力した結果、売上高は前年同四半期を上回りました。損益面も人件費、販売管理費等の低減もあり、前年同四半期を上回りました。

その結果、売上高は、3億67百万円（前年同四半期比16.9%増）、セグメント利益は、29百万円（前年同四半期比98.5%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ5億18百万円減少して94億16百万円となりました。この主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が2億81百万円減少したこと、現金及び預金が2億42百万円減少したこと、商品及び製品が1億円減少したこと等によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ8億83百万円減少して35億81百万円となりました。この主な要因は、短期借入金が7億円減少したこと、支払手形及び買掛金が1億43百万円減少したこと等によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ3億65百万円増加して58億34百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を5億88百万円計上したこと、及び剰余金の配当を2億56百万円実施したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期連結業績予想は、当第3四半期の業績を踏まえ2025年5月15日に公表いたしました通期の連結業績予想値を変更しています。詳細については、本日公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,343,187	1,100,647
受取手形、売掛金及び契約資産	1,503,077	1,221,866
商品及び製品	2,587,955	2,487,200
仕掛品	4,721	1,570
原材料及び貯蔵品	53,523	68,170
返品資産	250,422	221,666
その他	245,407	263,931
貸倒引当金	△7,000	△9,000
流動資産合計	5,981,295	5,356,053
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	826,359	773,659
土地	1,677,848	1,677,848
その他(純額)	81,374	151,663
有形固定資産合計	2,585,582	2,603,171
無形固定資産		
のれん	47,115	38,281
その他	320,047	303,731
無形固定資産合計	367,162	342,013
投資その他の資産		
その他	1,028,801	1,143,554
貸倒引当金	△28,201	△28,201
投資その他の資産合計	1,000,599	1,115,353
固定資産合計	3,953,344	4,060,537
資産合計	9,934,639	9,416,591
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	542,989	399,400
電子記録債務	124,143	114,228
短期借入金	2,200,000	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	23,268	128,954
未払法人税等	91,638	91,679
賞与引当金	103,186	51,724
返金負債	398,393	364,177
その他	435,974	448,162
流動負債合計	3,919,594	3,098,327
固定負債		
長期借入金	123,137	—
退職給付に係る負債	340,983	350,408
その他	81,189	132,861
固定負債合計	545,309	483,270
負債合計	4,464,904	3,581,597

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	2,856,206	2,856,206
利益剰余金	1,608,016	1,939,185
自己株式	△154,415	△154,946
株主資本合計	5,309,806	5,640,445
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	65,795	97,627
繰延ヘッジ損益	15,376	11,501
為替換算調整勘定	56,055	62,574
退職給付に係る調整累計額	13,089	10,349
その他の包括利益累計額合計	150,316	182,053
非支配株主持分	9,612	12,494
純資産合計	5,469,735	5,834,993
負債純資産合計	9,934,639	9,416,591

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	9,272,136	9,161,794
売上原価	5,129,019	5,004,854
売上総利益	4,143,116	4,156,940
販売費及び一般管理費	3,351,000	3,458,843
営業利益	792,116	698,096
営業外収益		
受取利息	4,378	4,432
受取配当金	4,857	7,627
為替差益	—	56,352
不動産賃貸料	31,608	32,445
その他	6,038	7,071
営業外収益合計	46,883	107,929
営業外費用		
支払利息	15,474	19,336
為替差損	33,659	—
不動産賃貸原価	15,901	16,027
投資有価証券評価損	—	10,843
その他	15,728	4,420
営業外費用合計	80,762	50,627
経常利益	758,237	755,397
税金等調整前四半期純利益	758,237	755,397
法人税、住民税及び事業税	116,236	127,906
法人税等調整額	20,621	36,636
法人税等合計	136,857	164,543
四半期純利益	621,379	590,854
(内訳)		
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,598	2,748
親会社株主に帰属する四半期純利益	618,780	588,105
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,879	31,965
繰延ヘッジ損益	26,259	△3,874
為替換算調整勘定	10,109	6,519
退職給付に係る調整額	△5,172	△2,739
その他の包括利益合計	27,317	31,870
四半期包括利益	648,696	622,725
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	646,180	619,843
非支配株主に係る四半期包括利益	2,516	2,881

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	127,786千円	120,357千円
のれんの償却額	8,834	8,834

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	身の回り品 事業	情報サービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,958,068	314,067	9,272,136	—	9,272,136
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	3,927	3,927	△3,927	—
計	8,958,068	317,995	9,276,064	△3,927	9,272,136
セグメント利益	783,684	14,755	798,439	△6,323	792,116

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間の取引消去額及び各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「情報サービス事業」セグメントにおいて、セブンスシステム株式会社の株式を新たに取得したことにより、連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては58,894千円であります。なお、発生したのれんの金額は、暫定的な会計処理の確定が反映されております。また暫定的な会計処理の確定による金額の変動はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	身の回り品 事業	情報サービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,794,634	367,159	9,161,794	—	9,161,794
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	125,850	125,850	△125,850	—
計	8,794,634	493,009	9,287,644	△125,850	9,161,794
セグメント利益	688,710	29,284	717,994	△19,898	698,096

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間の取引消去額及び各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。